

富津市創生会議 会議録

|               |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 会議の名称       | 富津市創生会議                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 2 開催日時        | 令和6年10月10日(木)<br>午後1時30分～午後4時10分                                                                                                                                                                                                                             |
| 3 開催場所        | 富津市役所1階 大会議室                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 4 審議等事項       | ・富津市人口ビジョン及び第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について<br>・第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について                                                                                                                                                                     |
| 5 出席者名        | 富津市創生会議委員(9名)<br>青木 和彦、梅内 泉、石井 喜美子、岡田 亮介、<br>小泉 晴信、小嶋 友子、笹生 一樹、島野 勝弘、<br>新行内 崇彰<br><br>事務局(10名)<br>市長 高橋 恭市、副市長 小泉 義行、<br>企画政策部長 石井 太、企画政策部次長 佐藤 慎也、<br>企画課長 秦野 憲一、企画課企画係長 牧野 圭吾、<br>企画課副主査 大野 恵、企画課副主査 若松 拓馬、<br>企画課主事 神子 裕美、企画課主事 鈴木 彩里奈<br><br>事業担当課(44名) |
| 6 公開又は非公開の別   | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開                                                                                                                                                                                                                                              |
| 7 非公開の理由      | 富津市情報公開条例第23条第 号に該当<br>(理由)                                                                                                                                                                                                                                  |
| 8 傍聴人数        | 2名(定員5名)                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 9 所管課         | 企画政策部企画課企画係<br>電話 0439-80-1223                                                                                                                                                                                                                               |
| 10 会議録(発言の内容) | 別紙のとおり                                                                                                                                                                                                                                                       |

富津市創生会議 会議録

| 発言者  | 発言内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局  | <p>委員の皆様方におかれましては、本日はご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議資料の確認をさせていただきます。着座にて失礼いたします。</p> <p>机上配布させていただいた「会議次第」、「席次表」、「市出席者一覧表」、「事前質問に対する回答」、「岩井委員からの事前質問」、事前に送付させていただきました「令和6年度富津市創生会議について」、「送付資料の説明について」資料1「富津市人口ビジョンに係る人口動向分析と将来展望について」、資料2「第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」資料3「第2期総合戦略（2024年3月改訂版）と第3期総合戦略（素案）の比較表」、資料4「令和6年度富津市民委員会報告書」、資料5「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画【2023年度事業評価報告書】」</p> <p>以上が本日の会議資料でございます。資料はお揃いでしょうか。</p> <p>1 開会</p>                                                                                                                                                           |
| 事務局  | <p>それでは、ただいまから、富津市創生会議を開会いたします。</p> <p>はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。11名の委員のうち、岩井委員から欠席のご連絡をいただいております。また、鈴木委員におかれましては、遅れているようでございます。従いまして、現在の出席者は9名となっておりますので、富津市創生会議設置要綱第6条第2項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立していますことをご報告申し上げます。</p> <p>続きまして、会議の公開についてですが、本日2名の傍聴者がおりますことをここで報告させていただきます。</p> <p>また、会議録作成のため録音させていただきますのでご了承願います。</p> <p>なお、質疑応答の際は着座にてマイクをご使用いただき、係員へ受け渡しいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、委員の皆様から事前にご提出いただいた質問事項については、庁内で共有しておりますので、各議題の質疑応答の際に、基本目標ごとに担当課から回答させていただきます。</p> <p>事業担当課において、事前質問に回答する際は、本日の配布資料「事前質問に対する回答」にある質問番号、委員名、担当課名、質問の概要について説明後に、質問に対する回答をお願いいたします。</p> <p>2 市長挨拶</p> |
| 事務局  | <p>続きまして、開会に当たり高橋市長からご挨拶を申し上げます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 高橋市長 | <p>（市長挨拶）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

### 3 会長挨拶

事務局

続きまして、青木会長からご挨拶をお願いいたします。

青木会長

(会長挨拶)

事務局

ありがとうございました。

それでは、本日の会議の趣旨及び議事進行につきまして、ご説明申し上げます。

本日の会議では議題を2つございます。1つ目が「富津市人口ビジョン及び第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」、2つ目が「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について」でございます。

1つ目の「富津市人口ビジョン及び第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」でございますが、資料1から4を用い、次期総合戦略(素案)につきまして、委員の皆様方からご意見等をいただき、今後作成する次期総合戦略(案)に反映させるものでございます。

2つ目の「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について」でございますが、資料5を用い、実行計画の2023年度事業評価報告書につきまして、委員の皆様方からご意見等をいただき、今後の取組改善等に繋げていきたいと思っております。

次に、議事進行につきまして、ご説明申し上げます。

始めに、「富津市人口ビジョン及び第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」でございますが、基本目標ごとに議論をお願いいたします。議論の時間は、各基本目標20分程度を予定しております。午後3時15分頃に10分間程度の休憩を挟みます。

その後、「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について」でございますが、まず、基本目標1と2について議論いただき、その後、基本目標3と4について議論をお願いいたします。議論の時間は、30分ずつを予定しております。

会議には事業担当課職員も出席し、委員の皆様方からのご質問等にお答えし、また意見交換等をさせていただきます。

本日の会議終了時刻は、16時30分頃を予定しております。長時間にわたりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは、富津市創生会議設置要綱第6条第1項により、会長に議長となつていただき、進行をお願いします。

青木会長、よろしくお願いいたします。

### 4 会議録署名委員の指名

青木会長

まず初めに、本日の会議録署名委員を指名させていただきます。島野委員と小嶋委員をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

5 議題（１）富津市人口ビジョン及び第３期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

青木会長

議題（１）「富津市人口ビジョン及び第３期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」について、事務局の説明を求めます。

事務局

議題（１）「富津市人口ビジョン及び第３期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」についてのご説明を申し上げます。

始めに、資料１「富津市人口ビジョンに係る人口動向分析と将来展望について」をご覧ください。本資料は、国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計や、国勢調査等に基づき、本市の人口の動向や将来展望についてまとめたものでございます。

まず、人口の動向といたしましては、本市の総人口は昭和 60 年（1985 年）をピークに減少し、また、年少人口及び生産年齢人口共に減少傾向となっております。

左下の自然動態につきましては、出生数減少、死亡数増加に伴い減少傾向にあり、また、減少幅は拡大傾向にあります。

右上の合計特殊出生率につきましては、近隣市・県と比較して低い傾向にあり、他市は 1.4 前後で推移しているものの、富津市は 0.8～1.1 前後で推移しております。

２ページ目をご覧ください。

次に社会動態につきましては、長期的に転出超過が続いており、平成 31 年以降は毎年 200 人前後の転出超過となっております。

年齢階層に違いはあるものの男女ともに若年層の転出超過傾向となっており、特に女性の転出超過が著しくなっております。

また右側の地域間の移動につきましては、近隣市への転出超過が大きく、県外自治体では転入超過となっております。

３ページをご覧ください。人口の将来展望にあたっては、出生率の向上、転入促進、転出抑制が重要となります。

市独自推計の将来仮定値として、出生率を市民の希望出生数の 1.65 となるように段階的に上昇させること、国勢調査の移動人口の転入数をベースに 15%増加させること、20～30 代の転出を 5 年ごとに 10%ずつ抑制することとして推計いたしました。

算出根拠といたしましては、資料右上のとおり、アンケート調査結果を参考に設定いたしました。

推計結果といたしましては、左下に記載のとおり、2050 年において、社人研推計 24,287 人のところ、約 3 千人減少抑制され、約 27,000 人となりました。

右下の 3 つのグラフにつきましては、年少人口、生産年齢人口及び老年人口の年齢区分別の推計人口となります。

この推計値につきましては、今後、出生率の値など、将来仮定値を精査のうえ検討を進めてまいりますので、数値が変わる可能性がございます。

次に、資料2「第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」について、ご説明いたします。1ページをご覧ください。

1「策定の趣旨・背景」ですが、ここでは、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、先ほどご説明いたしました新人口ビジョンを基礎とし、第2期総合戦略の取組を継承しつつ、今後は、更にデジタルの力を活用して、その取組を加速化し、発展させ、誰もが幸せを感じ、住み続けたいと思えるまちの実現を目指すことを記載しております。

次の2「第3期総合戦略の位置づけ」につきましては、第3期総合戦略が富津市みらい構想において優先計画として位置づけられていること、そして、2ページの上段において、第3期総合戦略に掲げる事業の取組については、SDGs、持続可能な開発目標の視点を取り入れて推進していくことを記載しております。

次の3「目指すべき将来の方向と将来展望」について、まず、「目指すべき将来の方向」ですが、「安全で安心して暮らせるまち」「子育てしやすいまち」を実現するための施策に重点的に取り組むとともに、昨年度、第3期総合戦略の策定に先立って実施された市民アンケート調査において、多くの市民が幸せを感じると回答した「良い環境の中での生活」の実現に寄与する事業を行うことで、年少人口減少に歯止めをかけ、「訪れたい」「住みたい」人たちが集うまちづくりを行うことを記載しております。

そして、次の「人口の将来展望」ですが、先ほど資料1でご説明いたしました推計人口の推移のグラフを記載しております。

次に、3ページをご覧ください。

4の「計画期間」及び5の「基本方針」につきましては、令和6年3月に開催された創生会議においてご説明させていただきました第3期総合戦略の策定方針に従い、それぞれ記載しております。

具体的には、計画期間は4年間とし、基本方針は、(1)から(4)までは第2期総合戦略を継承し、4ページ、(5)「デジタル技術の活用」を新たに追加いたしました。この「デジタル技術の活用」につきましては、デジタルに不慣れな人へのサポートを行うことに配慮しつつ、市民、地域、民間事業者の主体的な参画と協力を頂き、デジタルトランスフォーメーション、DXを推進して、誰もが便利で快適に暮らせる、魅力ある地域づくりを目指すことを記載しております。

この基本方針(5)を受け、6の「DXの推進」につきましては、「市民向けサービス」、「行政事務の効率化」、「地域課題の解決」、これら3つをデジタル技術活用の軸として定め、DXの推進に取り組んでいくことを記載しております。

これを踏まえまして、25ページから27ページに現在本市が実施している「デジタル技術を活用した取組」を記載しております。今後も、これらを推進するとともに、新しい技術の調査や研究を積極的に行い、導入を図ってまいります。

4ページに戻りまして、次に7の「第3期総合戦略の策定に当たって」につきましては、第1期や第2期の総合戦略と同様に、行政主導ではなく、市民等から幅広く様々な意見を頂き、富津市創生会議で議論を深め、

市議会とも連携し、市民、地域、行政がそれぞれの立場で互いに連携・協働して、内容の充実化を図ることを記載しております。

次に、5 ページ、1 「戦略体系」をご覧ください。

第3期総合戦略の基本目標は、策定方針に基づき、第2期総合戦略を継承しておりますが、富津市みらい構想が策定されたことを踏まえ、第3期総合戦略では、第2期総合戦略において基本目標3であった「くらしやすく、移住しやすい環境づくり」を基本目標4とし、基本目標4であった「市の産業、仕事を創る」を基本目標3といたしました。

6 ページからは、資料3「第2期総合戦略（2024年度3月改訂版）と第3期総合戦略（素案）の比較表」にてご説明させていただきますので、資料3をご覧ください。

こちらの資料は、左側に現行の第2期総合戦略を記載し、右側に第3期総合戦略の素案を記載した比較表となっております。

全体の構成といたしましては、基本目標1から4を順に記載し、各基本目標には、「数値目標」と「数値目標の設定の考え方」を記載しております。また、基本目標ごとに、「基本的な施策の方向」を定め、それぞれの「課題」「行政の取組」「地域・民間ができること」「市民ができること」を記載しております。

このうち、「基本的な施策の方向」や「課題」の設定、「地域・民間ができること」と「市民ができること」につきましては、今年度を実施した富津市民委員会に参加された市民の方々がそれぞれの立場で出してくださったご意見を参考にして庁内で検討し、記載しております。

そこで、今回は、主として、「数値目標」とその「数値目標の設定の考え方」、そして、「行政の取組」のうち、第3期総合戦略で新たに加えた事業、第2期総合戦略から削除した事業のうち、新たに設定したものや大きく変更したものについて、ご説明いたします。なお、事業の変更等に伴い各施策の目標値についても一部変更をしておりますが説明は省略させていただきます。

それでは、改めて、1 ページの、右側の基本目標1「子どもの笑顔があふれるまちへ」をご覧ください。

まず、数値目標である「子育てしやすいと感じる世帯の割合」につきましては、2023 年度に実施した市民アンケート調査では 26.1%だった結果を、2028 年度には 27%以上とする目標を設定しました。この数値目標の設定の考え方としては、2018 年度に実施した前回の市民アンケート調査からの増加率が 0.3%であったことを考慮し、現状よりも着実に一歩前進することを念頭に置き、前回調査からの増加率 0.3%をおおむね2倍以上にすることを目指し、27%以上といたしました。

この数値目標につきましては、富津市民委員会でのご意見で、「第2期の数値目標 50%については、低いと思うが現実的に考えると達成は難しい」や「数値目標は下げた方がいい」とのご意見がありましたので表記を何パーセント以上という表記に変更しております。

次に、1 ページ右側の「基本的な施策の方向①」をご覧ください。第3期総合戦略素案では、名称を「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」としてあります。この点に関しまして、7 ページをご覧ください。第2

期総合戦略においては、左側にあるように、基本的な施策の方向③として、「出会う機会を増やし、結婚の希望をかなえる」がありましたが、今年度実施した富津市民委員会でのご意見や、国、県の総合戦略を参考に、結婚・出産・子育てが、それぞれ密接に関連したライフイベントであることに鑑み、第3期総合戦略の素案では、第2期総合戦略の基本的な施策の方向①と③を統合いたしました。

次に2ページをご覧ください。右側になりますが、施策1「出会う機会を増やし、結婚の希望をかなえる」について、これは、ただ今申し上げたとおり、第2期総合戦略の基本的な施策の方向①と③を統合したことに伴い、第3期総合戦略の新たな基本的な施策の方向①として追加しております。また、この施策の事業につきましては、第2期総合戦略で「出会いの場創出」としていた事業名を、第3期総合戦略では「結婚支援事業」と変更して掲載しております。

次に、施策2「子育てしやすいまち、切れ目のない子育て支援の実現」について、この施策名は、富津市みらい構想を踏まえて変更いたしました。この施策に掲げる事業につきましては、「子育て短期支援事業」、「児童育成支援拠点事業」、「こども家庭センターの運営」を追加しております。

3ページをご覧ください。左側になりますが、上から5点目の事業、「特定不妊治療の助成」につきましては、令和4年度から保険適用となり、千葉県の補助事業が終了したことに伴い、本市においても、令和5年9月をもって事業を終了したため、削除しております。

次に、右側、施策3「出産、子育て情報の発信強化」に掲げる事業「ふつつ子育てLINE配信事業」について、再掲として追加いたしました。

次に、右側、施策4「子どもや子育て世帯が集まる場づくり」の最下段の事業「児童遊園地管理運営事業」につきましては、この事業は、第2期総合戦略における基本目標3「くらしやすく、移住しやすい環境づくり」の一事業として実施しておりましたが、事業の内容に照らして掲載箇所の再検討を行った結果、この施策4に掲載することといたしました。なお、この「児童遊園地管理運営事業」の掲載に伴い、左側の第2期総合戦略における事業「ワークショップの開催」につきましては、「児童遊園地管理運営事業」の取組の一つであるため、削除することといたしました。

4ページをご覧ください。次に、右側、施策5「子どもの安全の確保」につきましては、「通学路の安全確保」を新たな事業として追加いたしました。

5ページをご覧ください。右側になりますが、施策2の「子どもの学力向上推進」の4点目について、この施策の実現に資するデジタル技術を活用した事業として、「ICT教育推進事業」を新たに追加いたしました。

次に6ページをご覧ください。左側になりますが、第2期総合戦略では、施策3「子どもの健康増進」に掲げる事業として「学校給食共同調理場整備事業」がありましたが、新たな学校給食共同調理場は今年度中に完成予定であるため、当該事業を削除いたしました。

次に、右側になりますが、運動の側面から子どもの健康増進を図る事業として、「体力、運動能力の向上と健康、安全教育の推進」を新たな事業として追加いたしました。

次に、8ページの、右側の基本目標2「自分のくらす地域を好きになる」をご覧ください。

まず、数値目標である「富津市への愛着度」について、2023年度に実施した市民アンケート調査では53.5%だった結果を、2028年度には55%以上とする目標を設定いたしました。この数値目標の設定の考え方としては、2018年度に実施した前回の市民アンケート調査からの増加率が0.8%であったことを考慮し、基本目標1と同じ考え方に基づき、現状よりも着実に一步前進することを念頭に置き、前回調査からの増加率0.8%を概ね2倍以上にすることを目指し、55%以上といたしました。

次に、右側の、基本的な施策の方向①「自慢できる地域力を高める」について、この「基本的な施策の方向①」は、第2期総合戦略では「基本的な施策の方向②」として掲載しておりましたが、「まずは自慢できる地域力を高めてから、地域の魅力を発信していくべきではないか」という富津市民委員会でのご意見を踏まえ、庁内で改めて検討し、第3期総合戦略では記載順序を変更いたしました。

続いて、右側、第3期総合戦略の「基本的な施策の方向①」第3段落目をご覧ください。

ここでは、富津市みらい構想の重点テーマのひとつ「安全、安心なまち」を踏まえ、「災害に対して、市民、地域、民間事業者、行政がそれぞれ主体的に行動し、かつ、連携・協力できる、災害に強いまちをつくります。」と記載いたしました。

次に10ページをご覧ください。右側になりますが、施策5「災害に強く、安心して暮らせるまちづくりの推進」をご覧ください。ここでは、富津市みらい構想の重点テーマの一つである、「安全、安心なまち」を踏まえ、名称を変更いたしました。また、この施策に掲げる事業について、孤立するおそれのある集落にあらかじめ備蓄品を準備しておく「孤立集落への支援事業」、令和7年度から開始予定である「新生児への防災グッズ交付事業」、現在既に警察署、各地域等と連携して啓発活動等を行っている「防犯事業」を追加いたしました。

次に、14ページをご覧ください。右側になりますが、基本目標3「市の産業、仕事を創る」をご覧ください。

まず、数値目標である「働く場所の創出への満足度」につきましては、2023年度に実施した市民アンケート調査では15.6%だった結果を、2028年度には16%以上とする目標を設定いたしました。

この数値目標の設定の考え方ですが、2018年度に実施した前回の市民アンケート調査から0.8%減少してはおりますが、おおむね同水準を維持していることを考慮し、現状を上回る数値以上を目指して、16%以上といたしました。

続きまして、14ページ、左側の施策1の事業、「女性の雇用や職域拡大に取り組む企業の表彰などのPR」につきましては、県が行っている事業であり、富津市男女共同参画計画と整合を図ること、そして、富津



市民委員会において、市内雇用の創出を促進する必要性は女性に限るものではないといった意見があったことに基づき、第3期総合戦略では削除いたしました。

次に、14 ページ左側になりますが、第2期総合戦略では、施策1「雇用ニーズの把握、市内雇用や女性の働く場の創出の促進」と、15 ページ左側の施策2「創業のための環境整備」がそれぞれ分かれておりましたが、先ほど申し上げたように、富津市民委員会において市内雇用の創出を促進する必要性は女性に限るものではないといった意見があったこと、また、創業に当たっては、従業員の雇用も強く関連していることに鑑み、第2期総合戦略の施策1及び施策2を統合し、14 ページ右側の第3期総合戦略の素案では、一つの施策として、「雇用ニーズの把握、市内雇用の創出の促進、創業のための環境整備」と変更いたしました。

次に、16 ページから 17 ページをご覧ください。まず、16 ページの左側、施策1の事業「産地パワーアップ事業」につきましては、事業内容に鑑み、第3期総合戦略では、17 ページの右側の施策4「農林水産業の活性化」に掲載箇所を変更いたしました。

次に、16 ページ右側、第3期総合戦略の施策1「道の駅整備検討事業」を新たな事業として追加いたしました。

次に、左側、施策2「強い農業・担い手づくり総合支援事業」につきましては、この事業が国の補助事業であり、採択要件が比較的厳しく、近年の活用実績は無いことから第3期総合戦略では削除いたしました。その代替事業として、17 ページの右側、施策4『「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業』を追加いたしました。

次に、右側の下に掲載している、「鋸山日本遺産認定推進事業」及び「道の駅整備検討事業」については、施策5「観光資源をつなぐ仕組みの調整、新たな観光資源の発掘、既にある資源の魅力発信と外国人観光客受入態勢の強化」を実現する事業でもあるため、再掲として掲載いたしました。

次に、18 ページをご覧ください。左側になりますが、施策6「外国人やスポーツ目的の観光客受入態勢の強化」につきましては、掲載箇所を変更いたしましたので、施策5と施策6を統合し、右側の第3期総合戦略では、施策名を「観光資源をつなぐ仕組みの調整、新たな観光資源の発掘、既にある資源の魅力発信と外国人観光客受入態勢の強化」と変更することといたしました。

次に、18 ページの左側になりますが、施策7「広域連携による周遊型観光の推進」の3点目の事業、「百年後芸術祭事業」につきましては、今年度中に事業が終了する予定であるため削除しております。

次に、19 ページの、右側の基本目標4「くらしやすく、移住しやすい環境づくり」をご覧ください。まず、数値目標である「これからも富津市に住み続けたい」の割合につきましては、2023 年度に実施した市民アンケート調査では 81.3%だった結果を、2028 年度には 85%以上とする目標を設定しました。この数値目標の設定の考え方ですが、2018 年度に実施した前回の市民アンケート調査から 2.4%増加し、取組の成果が出

ていると評価できることから、第3期総合戦略では、数値目標を前回と同じ数値目標以上と設定し、85%以上といたしました。

次に、20ページをご覧ください。左側の施策2「公園を利用しやすくするための仕組みの検討」については、施策3と統合するため、削除しております。

次に、左側、施策3「道路、上水道等のインフラの計画的な整備及び適正な維持管理」の4つ目の事業、「上水道改良・拡張事業」につきましては、事業主体が、かずさ水道広域連合企業団であるため削除しております。

次に、右側の施策3「有害鳥獣被害の軽減」の2点目の事業として、「ICT等新技術を活用したニホンザル対策」を追加しております。この事業は、今年度から開始したデジタル技術を活用した取組で、位置情報システムを導入し、サルの群れの数、規模、加害レベル、生息域等を調査するものでございます。

次に、右側の施策4につきましては、令和6年3月19日に、「富津市ゼロカーボンシティ宣言」を表明したところであり、環境に係る施策及び事業を新たに追加いたしました。施策名を「ゼロカーボンシティの実現」、事業名を「ゼロカーボンへ向けた取組」としております。

次に、22ページをご覧ください。左側になりますが、施策1の1点目の事業「民間事業者と連携した移住情報の提供による転入促進」と、3点目の事業「ステイふつつ移住促進事業」につきましては、これらは、2点目に掲載している事業「移住・定住促進事業」に包含されるものであることから、右側の第3期総合戦略では「移住・定住促進事業」の一つのみ、事業として掲載しております。

また、同じく右側、第3期総合戦略では、移住・定住後の仕事に関する事業として、「富津市地域公共交通計画に基づく事業」、「創業支援事業」及び「商工振興事業」を再掲として掲載しております。

以上が主な変更点でございます。

次に資料4につきましては、5月に開催した富津市民委員会の報告書で、委員からいただいたご意見等をまとめたものでございます。

以上、議題1の説明となりますが、事前をお願いをさせていただいておりますように、本日の議論は、主に、資料1の第3期総合戦略（素案）における「基本目標」、「基本的な施策の方向」、「行政の取組」、「地域・民間ができること」、「市民ができること」について、ご意見等をいただきますようお願いいたします。中でも特に、「地域・民間ができること」及び「市民ができること」についてのご意見等をいただきますようお願いいたします。以上で、説明を終わります。

青木会長

それでは、質疑応答に入ります。

基本目標1から議論していただきます。

まず、事前に委員からいただいております質問事項について、担当課から回答をお願いします。

本日の配布資料「事前質問に対する回答」の質問番号1、新行内委員の質問に対して、担当のこども家庭課の方は、回答をお願いします。

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>発言される場合は、挙手にてお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| こども家庭課 | <p>「子育て短期支援事業」の概要についてお答えします。</p> <p>子育て短期支援事業は、保護者の方の疾病や育児疲れ、仕事等の理由により、お子さんの養育が一時的に困難な場合等に児童養護施設等において一定期間、お子さんをお預かりする事業です。</p> <p>本市では、令和3年10月から富津市篠部にあります社会福祉法人天祐会 自立援助ホーム「希望の杜」に委託して本事業を実施しております。</p> <p>対象者は、本市に居住し、住民登録のある2歳から小学校終了前までの児童で、ニーズに応じ、最大月に7日まで利用できる「ショートステイ事業」、平日夜間に利用できる「トワイライトステイ事業」、休日に利用できる「休日預かり事業」の3種類の利用メニューがあります。</p> <p>なお、県内では令和6年1月現在、24団体で同事業が実施されています。</p> |
| 青木会長   | <p>次に、質問番号2、新行内委員の質問に対して、担当の企画課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 企画課    | <p>20代での近隣3市への転出が多いことに対してどのように分析し、どのような対策を行っていくかについての質問にお答えします。</p> <p>転出の大きな理由の1つとして、進学や就職による影響が考えられます。そのため、一例として、「若者定住促進事業」ということで、市内から県外の大学等に高速バスを利用して通学する学生への通学費の補助を行うものです。</p> <p>また、UターンやIターンのよって子育て世代の方に富津市を移住先として選んでもらえるように、みらい構想の重点テーマである「子育てしやすいまち」の実現に向け、妊娠期から子育て期を通して、切れ目のない支援を重層的に展開してまいります。</p>                                                                            |
| 青木会長   | <p>次に、質問番号3、新行内委員の質問に対して、担当の企画課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 企画課    | <p>結婚・婚活を目的としたものの他に、男女を問わず若者が集まりやすいようなイベントも有効ではないかというご意見に対し回答させていただきます。</p> <p>若者が集まりやすいイベントを開催することは「住み続けたい、移住したい」と思える機会の創出にもつながることから、みらい構想で掲げる「誇りと愛着を持てるまち ふつつ」を実現していくためにも、有効であると考えております。</p> <p>従来開催しているイベントについても、開催に関わる職員が「若者の集まりやすさ」を意識して実施することで、少しでも多くの若者に参加していただけるイベントとなるよう努めていきたいと考えております。</p>                                                                                   |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青木会長  | 次に、質問番号4、新行内委員の質問に対して、担当の市民課の方は、回答をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 市民課   | <p>民間企業が福利厚生の一環として結婚支援を行うことについてのご意見に対し、回答させていただきます。建設的なご意見をいただきありがとうございます。「未婚化・晩婚化」の原因といたしまして「適当な相手にめぐり会わないから」といった要因のほか「経済的な事情、仕事との両立」といったことに対する不安が要因となっていることも世間では挙げられています。企業が従業員の結婚に前向きな姿勢を示していただくことで、結婚への機運醸成につながり、非常に有益な結婚支援となると考えます。</p> <p>企業向けの結婚支援制度は現状ではございませんが、今後企業でも活用が可能なものがあれば情報を発信してまいりたいと存じます。</p> |
| 青木会長  | 次に、質問番号5、新行内委員の質問に対して、学校教育課の方は、回答をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 学校教育課 | <p>ICT 教育推進事業の概要に関する質問にお答えします。1人1台の端末を「個別最適な学び」や「協働的な学び」を推進するツールとして効果的に活用し、情報活用能力を育成することを目的としています。効果的な活用が進むように、教職員への研修の充実や日常的な活用支援のためにICT支援員の配置をします。</p> <p>今後、市ICTアドバイザー等の活用をし、プログラミング教育の実践を推進していきます。具体的には、ドローン等を意図したとおりに飛行させるためのプログラムを考えるなどの活動をとoshi、論理的思考力の育成を図ります。</p>                                       |
| 青木会長  | 次に、質問番号6、新行内委員の質問に対して、学校教育課の方は、回答をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 学校教育課 | <p>教育において、富津市の特色を出すことに関する質問にお答えします。富津市教育施策の中で、「富津市の環境や風土を生かした学習の推進」を示してします。各校の計画において、ご指摘の「豊かな自然」を活かした学習も含め、名所や歴史的遺構の見学や体験学習の充実を目指しています。</p>                                                                                                                                                                      |
| 青木会長  | 次に、質問番号7、新行内委員の質問に対して学校教育課の方は、回答をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学校教育課 | <p>学力向上に関する施策についてのご意見に回答させていただきます。全小中学校に、指導補助教員を配置し、授業においてきめ細かな指導ができる体制を整え学習支援を行っています。全小学校で、主に低学年を中心とした希望者に放課後学習教室を実施し、児童の学習のつまずきの解消と学習意欲の向上を図っています。</p>                                                                                                                                                         |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>学力向上の土台として「読むこと・書くこと」に重点を置き、「読むこと」については、読書支援員と連携し「読書好きの児童生徒の育成」をめざした取組を推進し、「書くこと」については自分の考えを書くことができるように授業改善を図っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                               |
| 青木会長  | <p>次に、質問番号 8、新行内委員の質問に対して、企画課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 企画課   | <p>地域・民間ができることとして、学校や塾等の誘致というご意見をいただきました。</p> <p>こちらは、いただいたご意見を参考に、次期総合戦略への記載を検討させていただきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 青木会長  | <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、本日会議に出席予定でありました岩井委員が急遽欠席となり、本会議にて質問予定であった事項について提出いただきましたので、担当の方は回答願います。</p> <p>質問番号 1 について企画課の方お願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |
| 企画課   | <p>富津市民委員会でいただいた意見につきましては、本日皆様にもお配りした報告書を全庁で共有しております。その上で、市民委員会での意見等を踏まえ、企画課で原案を作成し、各課からも意見を上げてもらい、それらを取りまとめて素案を作成しております。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 青木会長  | <p>事前質問に対する回答は以上になります。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 笹生委員  | <p>資料 2 の 16 ページ、行政の取り組みにあります観光ガイドのフツアーの関係ですが、初刊が 2017 年 10 月に発行されて、当初、市内の郵便局の方に大体 20 冊ずつ位いただきました。これが、大変好評で、通りがかりのお客様、観光客、地元の方にも大変興味を持たれて持っていく方が多くいます。冊子とポータブルとあるようですが、ポータブルの方に関しては認知度がすごく低く、なかなか高齢の方が目にする機会がないと感じています。</p> <p>冊子タイプですと、民間施設等に置いてあれば、それぞれ立ち寄った方が持っていくと思うのでとても良いと思いますが、認知度が低いので、市の方でもう少し PR していただけたらと思います。実際に、どのくらいのかを民間施設等に置かれているかということをお聞きしたいと思います。</p> |
| 商工観光課 | <p>現在、ホームページのみならず商工観光課で SNS 等も活用して、Web 版も含めて、認知度向上に努めております。冊子版は、観光の拠点となるような、海ほたるや木更津アウトレット、イオンモール木更津等に置かせていただいております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>郵便局に定期的に配布できなかったことについては、大変心苦しく考えております。</p> <p>今後、ご連絡いただければすぐ用意させていただきたいと考えております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 青木会長  | <p>他に委員の方からご質問ありますか。</p> <p>島野委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 島野委員  | <p>先ほどのフツアーのパンフレットは何部ぐらい刷って配布しているものですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 商工観光課 | <p>毎年度フルバージョンのものを年間約 1 万部程度印刷し、もう少しコンパクトにまとめたものを 3,000 部増刷し、各種イベント等で配布させていただいております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 島野委員  | <p>ありがとうございます。</p> <p>別の質問です。人口が総合戦略の成果として一番わかりやすい指標だと思いますので伺いたいと思います。人口減少は、日本全国の問題なので、もう仕方がないことと認識しておりますけれども、どれぐらい抑えられるかということが人口ビジョンに書かれていると認識しています。</p> <p>まず 1 つ目の質問ですが、前回の人口ビジョンの時に富津市推計の数と、社人研推計があって、市の推計の方が、強気な見通しを書かれていたと思いますが、前回の 5 年間なり、2016 年からの取り組みで、どのくらいの実績になったかっていうことを振り返られているのでしょうか。</p> <p>2 つ目は、人口ビジョンの資料の中で、かずさ 4 市と比べていますが、木更津はアクアラインが通っていることで、非常に特異的な地域と比較している気がします。</p> <p>なので、北側の 3 市と比較するということも大事ですが、南側の南房総とか館山、鴨川あたりと比較してどうなのかという観点もあると思います。このあたりは、どうお考えかもし可能であればお答えください。</p> |
| 青木会長  | <p>ありがとうございます。</p> <p>こちらの質問は、企画課でよろしいでしょうか？</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 企画課   | <p>前回作成した人口ビジョン 2040 につきましては 2040 年に 34,000 人を目指すという形で策定しておりました。</p> <p>社人研の最新の推計値で 1,000 人程度の乖離が生じるということで、今回新たな見直しを行っております。</p> <p>2 点目の質問については、県内の南側の市との比較ですが、まだ検討にいたっておりませんので、今後検討していきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 島野委員  | <p>人口ビジョンを見直すにあたって、前回の推計値は、社人研の数字と富津市の数字のどっちに実績は近かったのでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画課    | 現状値としましては、社人研の数値に近いものになっております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 島野委員   | おそらく、今回の推計も結構強気の数字を出されていると思うので、結構頑張らないといけないですね。だから、皆さんで頑張りましょうというふうに思いました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 青木会長   | はい、ありがとうございます。<br>この他ご質問ございますか。岡田委員お願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 岡田委員   | <p>2点お願いします。資料2の3ページの右側で、ふつつ子育てLINEが再掲で目標値が622から2028年に800で示されていますが、人口ビジョンを見ると、年少人口が大体3,000人から3,700人の間で合計特殊出生率が0.8から1.1なので、親の数から見ると、割と弱い数字に見えます。多分LINEの普及率からすると、親世代だとほぼ100%だと思うので、伸び悩んでいる理由をどのように分析されているのかを一つお伺いしたい点です。</p> <p>もう1点が4ページの右側です。新たに通学路の安全確保という政策がセットされています。こちらは、全国的にスマートシティ的に見守りカメラ置いたり、Bluetoothのタグを子供に配布したりして、かなりICTを活用した見守りで全国的に広がっている中で、具体的に何か検討している政策があれば、可能な範囲で教えていただければと思います。</p>                                                                                          |
| 青木会長   | はい、ありがとうございます。こちらの質問につきまして、担当の方をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| こども家庭課 | <p>1つ目のご質問が資料の2の3ページのふつつ子育てLINEの登録者数の目標値についてのご質問ですが、ふつつ子育てきずなLINEは、こども家庭課で市の公式LINEと別に、独自のアカウントを取得しており、子育て支援センターの情報や、カナリエでのイベント情報をはじめ、子育て世帯に役立つ情報の発信をしております。</p> <p>このLINEにつきましては、子育て世帯だけでなく、希望される全ての方が登録いただけます。</p> <p>子供の数としましては、前回この富津市こども計画を策定するに当たりまして、3月にアンケート調査を実施し、就学前児童0歳から5歳の保護者の数としては、市内に1,109件、また、小学生の保護者さんにつきましては、1,491件なので、合わせて約2,500件となります。</p> <p>確かに、目標値の設定としては少し弱い部分もあるのかなと考えておりますが、登録者の方々からも概ね好評をいただいております、800件以上を目指していきたいということで、このような数値を設定しました。この目標値については、改めて検討してまいります。</p> |
| 学校教育課  | <p>2つ目のご質問にお答えいたします。</p> <p>通学路の安全確保に対するICTの活用ということですが、基本的には大きくはしていませんが、本市では通学路の安全対策評議会を行っ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>ておりまして、各小中学校から上がってきた危険箇所を合同点検し迅速に対応できるように協議をしているというところが主になります。ICTに関して言えば、天羽地区を走るスクールバスに関しては、保護者がスクールバスがどこを走っているかっていうのをGPSで確認できるようなアプリを搭載しているところがございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 青木会長 | <p>はい、ありがとうございます。<br/>石井委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 石井委員 | <p>まず、本会議の事務局の皆様におかれましては、このような本当に詳しい資料をご提示いただきましてありがとうございました。<br/>なかなか数値的なものを見るということができない中で、資料1の社会動態の中の富津市の地域間の移動で令和3年、4年の統計の中で、県隣3市へ出る方や、県内自治体に出る方が多い中で、県外の自治体から本市の方にたくさん入ってらっしゃるということは、富津市の良さというものに対して、住んでみたい魅力のあるまちではないかなというような、たくさんの理由で来られたと思いますが、このような移住してきた方々の意見などを、ぜひ市の行政の中に生かした取り組みをしていただければと思います。<br/>そこで質問ですが、この富津市民委員会のメンバーの中には、他の地域から移住されてきた方々などがメンバーとして加わっていらっしゃるのでしょうか。<br/>地域の魅力を発信するには、やはり移住してきた方々や入って来た方々の声というのは、とても貴重であって、こういった方々の意見を吸い上げて、魅力を発信していくまちづくりに取り入れていくというのは、やはりこれからの視点の一つとして持っていてもいいのではと思います。<br/>それから、小学校・中学校でふるさと学習を盛んに取り入れてくださって、学校教育課の皆様方には大変ご苦労されていると思いますが、小学校、中学校で学んだその富津市の魅力というものは、この学ぶ子供たちがいずれ成長して、この子供たちが今度中心になって、果たして富津の魅力を自分たちで発信していけるだけの力があるだろうか、理解があるだろうかということになると、学校教育課が携わった事業によって富津で学んだ子供たちが、成長したときに果たして、次の担い手となって富津を牽引していけるかどうかというあたりの長期的な連携といった部分をどのようにお考えになっているのかということをお伺いできればと思います。</p> |
| 青木会長 | <p>はい、ありがとうございます。<br/>それでは1つ目の質問は企画課でよろしいですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 企画課  | <p>まず、富津市民委員会の参加者についてですが、市外からの移住者の方もおられました。外から来られた方々の視点での意見というのをたく</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>さんいただきましたので、そういったものも踏まえて報告書を作成しております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 学校教育課 | <p>2点目の質問にお答えいたします。確かに、ふるさとの学習、地域の学習というものが、次世代に繋がっていくという部分で、今大きな課題というふうに感じているところです。今まで学校教育課を中心に行ってきましたが、そこで終わらないように、生涯学習課や公民館等と協力し連携しながら、今後そういった力が次世代に繋がっていくように、連携をしているところでございます。</p>                                                                                                                 |
| 青木会長  | <p>はい、ありがとうございます。<br/>笹生委員をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 笹生委員  | <p>資料2の8ページにある、児童遊園地管理運営事業についての質問です。市児童遊園地の利用が、昨年度 44.9%という数字が出ております。市内に数多く公園がありますが、実際のところ、遊具が使えなかったり、草が生い茂っていて子供が遊べないという状況になっている場所がいくつかあります。そこで、現在の公園の環境整備はどのようなになっているのか教えてください。</p> <p>また、他市では、子供の病院の隣に公園があったりする場所が見受けられます。私も見たことありますが、そこがふれあいの場になると思われます。もし今後、新たに公園を作るような機会があれば、検討いただければと思います。</p> |
| 保育課   | <p>初めに、児童遊園地の管理についてお答えします。</p> <p>草刈り等につきましては、児童遊園地もしくは子供の遊び場が設置してあります区をお願いしている場所がございます。また、福祉作業所に草刈り等の実施をお願いしている場所もございます。もちろん保育課としても、草刈りや遊具等の点検を実施しております。</p> <p>遊具が故障していて使えないというところですが、これに関しては、優先順位をつけ、順次修繕しているところであります。</p>                                                                         |
| 青木会長  | <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にご意見・ご質問等ないようですので、基本目標1は終了します。続いて、基本目標2に移ります。まず、事前に委員からいただいております質問事項について、担当課から回答をお願いします。</p> <p>「事前質問に対する回答」の質問番号9、新行内委員の質問に対して、担当の企画課の方は、回答をお願いします。</p> <p>発言される場合は、挙手にてお願いします。</p>                                                                                        |
| 企画課   | <p>自慢できる地域力についてのご意見にお答えします。</p> <p>住民に地域活動を知ってもらうことで、その重要性に気づき、自ら地域活動に参加しようとする意識が高まると考えます。そのため、SNS 等</p>                                                                                                                                                                                              |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>を活用し、住民一人ひとりに各種地域情報を的確に伝え、地域のつながりがさらに強くなるよう努めてまいります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 青木会長  | <p>次に、質問番号 10、新行内委員の質問に対して、担当の市民課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 市民課   | <p>地域住民間のコミュニケーションについてのご意見にお答えします。</p> <p>住民同士が連携して地域とのつながりをもっていただくことは、地域の福祉や防犯・防災対策の観点から、市としては推進しているところです。一方で、地域とのつながりを負担に考えている方もいらっしゃるということも、委員のおっしゃるとおりです。</p> <p>難しい課題ではありますが、温度差が生じてしまわないようにするためのひとつの施策として、地域のことを知ってもらい、その地域で行われている地域活動の重要性に気づいていただくことが必要であると考えています。本件については引き続き研究してまいります。</p>                                                                                                                |
| 青木会長  | <p>次に、質問番号 11、新行内委員の質問に対して、防災安全課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 防災安全課 | <p>孤立集落への支援事業についてのご質問にお答えします。</p> <p>令和 6 年元日に発生した能登半島地震では、道路の寸断等で孤立集落が多く発生し、救助や物資供給等の公助が一定期間行き届かない事態が生じました。千葉県も石川県と同様に半島性を有していることから、同様の事態が想定されるため、千葉県が孤立集落対策緊急支援補助金を創設しました。これを受け、当市でも 9 月補正予算で「孤立集落災害対策事業」を計上しました。</p> <p>令和 6 年度については、土砂災害等により孤立可能性の有る天羽地区の 36 集落に対し、食料や保存水などの保存食セットのほか、避難所として想定される地区集会所へ発電機を配備する予定です。</p> <p>また、令和 7 年度から令和 8 年度にかけても事業を継続し、地区集会所等のトイレの洋式化や倒木による被害を防ぐための予防伐採などを実施していく予定です。</p> |
| 青木会長  | <p>次に、質問番号 12、新行内委員の質問に対して、秘書広報課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 秘書広報課 | <p>SNS についてのご意見にお答えします。</p> <p>各 SNS の特徴を生かし、ターゲットを考慮した内容とすることで、少しでも多くの方に興味をもってもらえるよう引き続き市の魅力発信に努めてまいります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 青木会長  | <p>次に、本日欠席されている岩井委員からいただいた質問事項について担当の方は回答願います。</p> <p>質問番号 2 について市民課の方お願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民課   | <p>岩井委員からの自治会活動への理解が得られなかったりしたことに起因するトラブルなどについてといったことが自治振興事業の中に含まれるのかということですが、自治会活動の支援についても自治振興事業に含まれます。</p> <p>先ほど新行内委員からのご意見への回答と繰り返しになってしまいますが、自治会活動についての重要性や必要性について知っていただくことによって、トラブルが起きないように取り組んでいきたいと考えております。どのような方法があるのかということについては、研究をしてみたいと考えております。</p>                                                                                                                 |
| 青木会長  | <p>事前質問に対する回答は以上になります。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか。</p> <p>島野委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 島野委員  | <p>基本目標2の数値目標の中に「富津市への愛着度」というのがあります。例えば、さっき議論になったところでもあります。新しい住民と古くから住んでいる住民で意識が違ったり、地域性があるような気がします。</p> <p>富津のあたりは、多分新しい住民も多いですし、天羽や大佐和は、古くから住んでいる人が多いと思うので、この辺りの地域性が出ているような結果になっているのか、そこまではさすがにちょっと分析できてないのかっていうのがちょっと気になっています。</p> <p>もう1つは、愛着度が上がっているのは、それ自体はいいことですが、転出者が多い中で、愛着度が上がっているといことは、嫌な人は出ていただけっていうふうな辛口の見方もできるわけです。</p> <p>そのあたりももう少し分析されると、施策に反映できるかなと思いました。</p> |
| 企画課   | <p>アンケートにつきましては、市内を富津地区、大佐和地区、天羽地区の3地区に分けて、アンケートの発送数を調整しておりますので、地域性については、分析ができるところでありますが、今後進めていきたいと考えております。</p> <p>また2点目のご意見につきましても、委員のご意見参考に検討していきたいと考えております。</p>                                                                                                                                                                                                              |
| 青木会長  | <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にご質問ご意見等ございますか。</p> <p>では副会長お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 梅内副会長 | <p>新行内委員からの意見にもあった通り、SNS でどんどん発信していった方が良いと思います。昨今テレビ等で外国人観光客が、なんでこんな観光地に来ているのかなというのを見ると、よく SNS で見たよというのがあって、SNS の力ってすごく大きいなと思っています。先ほど担当の</p>                                                                                                                                                                                                                                   |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>方も、SNS の特性を生かして発信していきたいとおっしゃられていましたので、まさにそのアクセス数を増やすなど、インフルエンサーの方に来ていただいたり、そういったことで、急激に爆発的に増えてくのかなと思います。富津市の観光の素材としては、非常に良いものがあると思いますので、うまく伝わって、広がっていくといいのかなと思います。</p> <p>2つ目ですが、施策5災害に強く安心して暮らせるまち作りの推進といったところで、まさに今年1月に能登地震がありまして、こういった災害を目の当たりにすると我々企業側も、忘れてしまっている日頃の防災の備えというの重要性を改めて感じます。今年5月に、イオンモール富津さんで防災フェスタに企業として参加させていただきましたが、やはり防災グッズの展示では、非常に多くの市民の方に来ていただき、備蓄食や消防活動のグッズを興味深く見ていただいたことがとても印象的でした。我々企業側も市とタッグを組んで、引き続きできることがあればと思った次第です。防災や災害に強く安心して暮らせるまちづくりのために、防災の意識を上げるところに企業としても加わっていけることがあれば、ぜひ参加していきたいなと思っていますので、またお声がけいただければと思います。</p> |
| 青木会長  | <p>ありがとうございました。他にございますか。</p> <p>石井委員をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 石井委員  | <p>施策5災害に強く安心して暮らせるまちづくりの推進ですが、よく台風が近づいたりとかすると、広報無線で避難所を開設しましたと、該当の地域の皆さんは避難をしてくださいというような避難場所のいろいろな広報をいただいているのですが、一般の避難所に避難できない障害のあるような方々の福祉避難所というのは、富津市においてどの程度を設けているのか、もし具体的な取り組みをされているのであればお伺いしたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 防災安全課 | <p>福祉避難所についてですが、富津市においては、指定福祉避難所として子育て支援センターカナリエを指定しています。</p> <p>また、市内の社会福祉法人と災害協定を結んでおり、大規模災害時等においては、そういった社会福祉施設も活用をさせていただくような協定の締結をしております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 石井委員  | <p>実際に、どのくらいの方がその福祉避難所を利用されているのでしょうか。もし事例がありましたら教えていただければと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 防災安全課 | <p>現在のところ、福祉避難所を開設したという実績はありません。</p> <p>一般の避難所においても、要配慮者の方が利用できるようなスペースを確保していますが、避難所だけがそういった避難する場所ではないというところもありますので、親戚や知人宅等の安全な場所に避難できるように、周知などを丁寧にやっていかなければいけないと考えております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青木会長  | <p>ご意見・ご質問等ないので、基本目標 2 は終了します。</p> <p>続いて、基本目標 3 に移ります。まず、事前に委員からいただきております質問事項について、担当課から回答をお願いします。</p> <p>「事前質問に対する回答」の質問番号 13、新行内委員の質問に対して、担当の商工観光課の方は、回答をお願いします。</p> <p>発言される場合は、挙手にてお願いします。</p>                                                                                                                                                                     |
| 商工観光課 | <p>質問番号 13、企業誘致に関する質問にお答えいたします。</p> <p>企業誘致につきましては、企業の進出に伴い新規雇用の拡大、市外からの人口流入の促進、その他にも地元企業への新たな需要が生まれるなど地域全体の活性化に繋がることは認識しております。</p> <p>しかしながら、誘致する場所についての周知は、現在提供できる土地が無く、民地の把握まではできていない状況です。</p> <p>千葉県においては、企業誘致について今年度は、今まで以上に積極的に行っており、誘致場所の情報共有を行うことも可能と千葉県のから聞いております。</p> <p>現時点では積極的な誘致活動は行っておりませんが、企業から問い合わせがあった場合には、千葉県とも連携して情報提供等、丁寧な対応を行っていきたいと思っております。</p> |
| 青木会長  | <p>次に、質問番号 14、新行内委員の質問に対して、担当の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 商工観光課 | <p>企業誘致に関して、市内の不動産情報を企業に提供するということについてお答えいたします。</p> <p>こちらについては、近隣の状況や先進事例を参考にしながら、千葉県とも連携して行っていきたいと思っております。</p> <p>金融機関におかれましても、不動産の有効活用としてご協力いただくことができればお願いしたいとも考えております。</p>                                                                                                                                                                                          |
| 青木会長  | <p>次に、質問番号 15、新行内委員の質問に対して、担当の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 農林水産課 | <p>地域の特色ある産業に関するご質問にお答えいたします。</p> <p>農業においては、生産活動に伴う環境負荷をできる限り低減する取り組みが求められており、国補助金の交付受ける場合には、環境負荷低減に取り組んでいることが必須であることから、農業者に対して基本的な取り組みを実践するよう周知を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>水産業においては、新富津漁協において養殖生産が行われている江戸前オイスターについて、千葉県から千葉ブランドとしての認定を受けておりますので、こういったことも踏まえた中で、特産品の直売イベント等を通じて、PR 活動を強化し、認知度向上を図るとともに、各関係団体</p>                                                       |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | と連携し、市内外の飲食店、小売店での取り扱いが増えるように普及に努めてまいりたいと考えております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 青木会長  | 次に、質問番号 16、新行内委員の質問に対して、担当の方は、回答をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 商工観光課 | <p>地元の事業経営者の高齢化に関する質問に回答いたします。</p> <p>事業者の方、特に個人事業主の方についてですが、どこに相談したらいいのかわからないというところからですので、相談先の案内を行うことは当然ですが、問題が生じる前から、事業者へ計画的な準備の重要性についての気づきと早期取り組みを促すことも必要なことと考えております。</p> <p>当市の取り組みをご紹介しますと、包括連携協定を結ぶ三井住友海上火災保険と連携して、事業承継対策セミナーを 11 月 29 日金曜日、イオンモール富津コミュニティホールにて開催します。取引先事業者の方にご案内いただけると大変ありがたく存じます。</p> <p>また、千葉県事業承継引き継ぎ支援センターでは、事業承継に関する相談の他、事業承継診断による課題の抽出、事業承継計画の策定など、事業承継に関する全般的なことについて秘密厳守で無料相談を行っております。</p> <p>富津市商工会においても、相談に来られた方を千葉県事業承継・引継ぎ支援センターへ繋ぎ、事業承継出張個別相談を行っております。</p> <p>企業の事業を経営継続してくれる先を探していくということについては、行政および各関係機関と連携して行っていければと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> |
| 青木会長  | <p>事前質問に対する回答は以上になります。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか。</p> <p>島野委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 島野委員  | 新富工業団地は、もう空きがないということですか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 商工観光課 | 新富にある工業用地ですが、千葉県の企業局が整備をしているところですが、区画は全て埋まっている状態です。新富の方へ行かれると、実際空いているように見受けられますが、すでに全ての土地の契約は行っている状態です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 島野委員  | 印西市では、データセンターの誘致を行っているようですが、富津市も東京からの距離もそれほど遠くないし、何より火力発電所からすごく近いので、電力供給の不安がないということで、このようなデータセンターの誘致のようなことを考えてもいいのかなと思いましたが、いかがでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|       |                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商工観光課 | 先ほどの新行内委員からのご質問にもお答えしましたが、まず、土地の把握ができていないので、まずそこからになります。                                                                                                                                                                           |
| 青木会長  | 他にご質問等ございますか。<br>岡田委員お願いします。                                                                                                                                                                                                       |
| 岡田委員  | 富津市民委員会に私も参加させていただきまして、その内容が非常にしっかり反映されていて非常にありがたく思いました。<br>行政の取り組みは、おそらくこれが予算化されて、事業になっていくのはよく理解できますが、地域・民間ができること、市民ができることが総合戦略に記載された際は、例えば、地元のお店を利用するよう努めるということが、総合戦略に掲載された際、どのようにアウトカムを追っていくのでしょうか。これが、何か政策に反映されるのかについて教えてください。 |
| 企画課   | 地域・民間ができること、市民ができることというのは、当然強制するものではございませんので、意見交換の場ですとか、そういった時にこういったことができますよねというような意見が市民の方からもありましたとか、そういうところでご協力いただけないかというような形で話を進めるのに、こういったものがあるというようなもので記載させていただいております。                                                          |
| 青木会長  | ご意見・ご質問等ないようですので、基本目標3は終了します。<br>続いて、基本目標4に移ります。まず、事前に委員からいただいております質問事項について、担当課から回答をお願いします。<br>「事前質問に対する回答」の質問番号17、新行内委員の質問に対して、担当の政策推進課の方は、回答をお願いします。<br>発言される場合は、挙手にてお願いします。                                                     |
| 政策推進課 | 移住者の様々なニーズに関するご意見に回答いたします。<br>窓口や移住イベントなどで相談した内容等を参考にしながら、今後の事業を進めていきたいと考えております。                                                                                                                                                   |
| 青木会長  | 次に、質問番号18、新行内委員の質問に対して、担当の方は、回答をお願いします。                                                                                                                                                                                            |
| 政策推進課 | 移住相談会に関する質問にお答えします。<br>移住相談会については、富津市単独で実施するよりも、様々な自治体などが集まるイベントに出展する方が、集客数も増え、富津市をPRするには有効であると考え、これまでに「ふるさと回帰フェア」や「千葉県移住相談会」などに出展をしております。引き続き、移住イベントの開催状況などを調査しながら、事業を実施していきたいと考えております。                                           |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>また、東京都有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」では、千葉県内の自治体を紹介する移住コーディネーターがおります。移住イベントとは別に、この相談員経由でも富津市を紹介していただいております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 青木会長  | <p>事前質問に対する回答は以上になります。<br/>他にご意見・ご質問等はございますか。<br/>新行内委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 新行内委員 | <p>丁寧にご回答いただきまして、本当にありがとうございました。それぞれ聞きたいことについては、お答えをいただきましたので、この新しい計画の全般的な感想を意見させていただければと思います。</p> <p>やはり、人口どうやって増やしていくかっていうところが一番大きな問題としてありまして、その中で、先ほど島野委員からもございましたけれども、国全体の人口をどうするというのは、なかなか難しい話になる中で、富津市として何ができるのかというところになってくると、限られた人口を他の市町村と競っていくような部分もあるかと感じております。</p> <p>そういった意味で、やはり富津市としての何か特色みたいなものがもう少し何かないのかなというような感想を持ちましたので、その辺を、皆さんで意見を出しながら、見つけていければいいのかなと感じました。</p> |
| 青木会長  | <p>ご意見・ご質問等ないようですので、基本目標4は終了します。<br/>以上で、議題（1）「富津市人口ビジョン及び第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」については、終了します。<br/>ここで、休憩に入ります。15時30分から再開します。</p> <p>－休 憩－</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
|       | <p>5 議題（2）第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 青木会長  | <p>それでは、会議を再開します。<br/>議題（2）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価」について、事務局の説明を求めます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事務局   | <p>議題（2）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について」のご説明を申し上げます。資料5をご覧ください。</p> <p>本資料の内容は、第2期総合戦略実行計画の掲載事業について、2023年度の実績・評価をとりまとめた報告書になります。</p> <p>報告書の2ページをご覧ください。成果指標の達成状況および概要です。達成率80%以上の評価A及び評価Bの成果指標は81でありました。前年度より増加という形となっております。</p>                                                                                                                                        |



|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>また、評価Dの成果指標が 25 であり、前年度よりは減少となりましたが、全体の 5 分の 1 を占める結果となっております。</p> <p>委員の皆さんからご意見等をいただき、今後の事業実施の取組改善等に繋げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上で、説明を終わります。</p>                                                                                                                                                                                             |
| 青木会長   | <p>それでは、質疑応答に入ります。</p> <p>まず、基本目標 1 と 2 を議論していただきます。</p> <p>事前に委員からいただいております質問事項について、担当課から回答をお願いします。</p> <p>「事前質問に対する回答」の質問番号 19、新行内委員の質問に対して、こども家庭課の方は、回答をお願いします。</p> <p>発言される場合は、挙手にてお願いします。</p>                                                                                                                                                   |
| こども家庭課 | <p>ふつつ子育てきずな LINE 配信事業に関する質問にお答えします。</p> <p>この目標値は、本計画策定当時の本市における年間出生者数が算定の基礎となっております。</p> <p>当時は、年間出生者数が概ね 150 人前後で推移していたことから、全ての妊産婦に登録いただきたいという考えから、妊娠期の登録者数の目標値を 150 人と設定しました。また、子育て期の登録者数の目標値 450 人については、本事業の配信対象は、お子さんが生まれてから 3 歳のお誕生日を迎える日までであるため、年間出生数に 3 を乗じた数値として設定した経緯があります。</p> <p>次期総合戦略の実行計画で目標値を設定する際には、現在の動向に合わせた見直しも含め検討してまいります。</p> |
| 青木会長   | <p>次に、質問番号 20、新行内委員の質問に対して、担当の学校教育課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学校教育課  | <p>地元産物の学校給食への優先的使用に関する質問に回答します。</p> <p>富津市産の野菜等を使用することが事前に分かっている場合には、献立表に「富津市産の〇〇を使用」と記載しています。菜花や小糸在来などの特徴的な食材を初めて使用する時は、お昼の校内放送でその日の献立に富津市産の野菜を使用していることと、その野菜についての説明をします。</p> <p>また、各調理場の栄養士が生産者や漁協と交流し、畑や海苔の種付場等を訪問した様子などを食育だより等で紹介しています。</p>                                                                                                     |
| 青木会長   | <p>次に、質問番号 21、新行内委員の質問に対して、担当の秘書広報課の方は、回答をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 秘書広報課  | <p>ふつつの魅力発信事業に関するご意見に回答します。</p> <p>各 SNS の特徴を生かし、ターゲットを考慮した内容とすることで、市 HP や広報紙をはじめ、様々な情報媒体等を活用し、フォロワー数を増や</p>                                                                                                                                                                                                                                         |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>していくとともに、引き続き市の魅力を市内外へ発信していけるよう努めてまいります。</p> <p>なお、今年度から YouTube にも力を入れて取り組んでおりますので、ぜひこちらにもチャンネル登録をしていただけますと幸いです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 青木会長   | <p>本日欠席されている岩井委員からいただいた質問事項について担当の方は回答願います。</p> <p>質問番号3について、こども家庭課の方お願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| こども家庭課 | <p>赤ちゃん休憩室事業に関するご質問に回答させていただきます。</p> <p>富津市では、事業者が設置をされた授乳やオムツ替えができる等の設備の基準を満たした場合に、赤ちゃん休憩室として認定をして、その証としてステッカーを交付して、赤ちゃん休憩室の設置を広く周知をしています。</p> <p>ここ数年は、市内でオープンをした商業施設などでは車椅子利用者だけではなくて、高齢者の方、内部障害者の方、子供連れのなどの多様な方が利用できる多機能トイレも増えておりますので、このような施設の管理者へは市の方からも働きかけを行いまして、引き続き、ステッカーの交付をしてまいりたいと考えております。</p> <p>従来からある建物等ですと、障害者が利用できる施設であることを表すための車椅子のマークのみが表示されているようなトイレもあるかと思えます。子育て支援という観点では、このようなトイレでも気兼ねなくオムツ替えができるということは望ましいというふうに考えますけれども、近年では車椅子利用者用のトイレの利用周知を避けるために、オストメイト対応設備や乳幼児連れの方のための設備を一般トイレ内へ分散させる取り組みが徐々に進んでいることもございますので、こうしたトイレも一律にとすることは、慎重に検討していきたいと考えております。</p> <p>市では、赤ちゃん休憩室の要件を満たす設備を整備された事業者への補助制度も用意しておりますので、本制度の活用を促してまいりたいと考えております。</p> |
| 青木会長   | <p>事前質問に対する回答は以上になります。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか。</p> <p>小嶋委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 小嶋委員   | <p>25 ページの地域交流支援センター事業の件ですが、こちらカナリエの活動というところで自己評価というところに、地域や世代間の交流を図ることができたとあります。子育て中の方はもちろんだと思いますが、地域の方というのは、具体的にどのような方が参加されたのでしょうか。</p> <p>また、10月のイベントの中で、運動会なども予定されているようなので、地域の方が参加できるといいのかなと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>また、子ども子育て支援事業の中の子育て応援動画の配信本数ということで、昨年度ゼロという結果となっておりますけれども、動画配信はしなかったという理解で良いのでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| こども家庭課 | <p>基本的には、未就学児の保護者の方が親子でご利用いただく施設でありますけれども、それだけではなく、おじいちゃんおばあちゃんなどもご利用いただけます。また、地域で活動している手話サークルや地域の団体の方も利用できる多目的室という部屋もございます。</p> <p>また、運動会等については、カナリエの所長さんがお声がけをいただき、活動に参加されている状況です。</p> <p>25 ページの子育て講座の開催についてのご質問ですが、子育て応援動画の配信本数を成果指標に設定していましたが、2023 年度の実績が 0 件でした。市としても、大変申し訳ないことと反省をしていますが、子育て動画の配信というのが、実はコロナ禍におきまして、カナリエで講座がなかなか開設できなかったというような時期がございました。</p> <p>そのために、2021 年度末から 2022 年度におきましては、その対面式での講座の代わりに、動画の配信を行ったという経緯がございます。</p> <p>手形アートの作り方、簡単に作れるおやつ動画、ベビーヨガ教室のすすめ、それからクリスマスリースの作り方等の動画配信を行いました。</p> <p>2023 年度におきましては、コロナ禍も一旦落ち着きを見せたというようなところで、動画の配信ではなく、昨年 11 月には、対面でのプレパパ応援講座を開催しました。</p> <p>こちらの成果指標につきましては、今後検討してまいります。</p> |
| 青木会長   | <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、石井委員をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 石井委員   | <p>40 ページ、基本目標 2 の史跡めぐりや郷土史学習等の推進についてご質問させていただきます。</p> <p>かつて、富津市の地場産業であった海苔作りとその漁業に関する歴史は、古くから位置づけられているもので、富津の埋立記念館は、漁業権を放棄された方々のご意向によって建てられたと聞いています。</p> <p>富津公民館に隣接しており、以前は施設に行くを担当の方がいて、活用しやすい環境でしたが、だんだん老朽化が進んで、あんなに素晴らしい展示をされているのに、埃をかぶっているような状況です。コロナが落ち着いたので、来訪者も増えつつあると思いますが、市としてあのような老朽化し、富津市の良さを発見し、見つけていく場所の 1 つとして、この富津埋立記念館を今後どのような方向で管理運営をされていくのかについて伺いしたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 公民館    | <p>埋立記念館の老朽化に伴う今後のあり方ということですが、公民館としては、富津埋立記念館の今後の活用についての活用方針の案を策定中です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>これについては、公民館運営審議会を通して策定しまして、その内容を今後公開していくこととしております。</p> <p>展示内容のリニューアルや企画展の発案、老朽化している部分についての補修改善をしていく予定でおります。</p>                                                                                                                                 |
| 青木会長 | <p>他にご質問はありますか。</p> <p>岡田委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                              |
| 岡田委員 | <p>41 ページの上、自治振興事業についてお伺いいたします。</p> <p>次年度以降の取り組みにデジタルサービスの活用で提供する事業者が増えたことから、自治会運営の DX 推進についても研究していくという記載がありますけども、他市の事例ですと、おそらく予約とキャッシュレス決済、スマートロックの活用というところが、ここに書いてあることの具体的な意義かなと思いますが、こちらはやる方向で検討がなされているのか、まだ具体的などころまでは進んでいないのかについてお伺いします。</p>   |
| 青木会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>市民課の方お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                              |
| 市民課  | <p>結論といたしましては、現在、研究段階です。</p> <p>自治会の DX の推進というところで、自治会の運営をサポートするスマートフォンアプリについて、企業から案内があるような状況で、人口減少に伴い自治会運営の負担が増えているので、そういった負担を少しでも軽減したいというところで、今研究をしています。</p> <p>ご高齢の方は、スマートフォンを扱えないという方も多くいらっしゃいますので、こういった形でそれを地域に落とし込んでいくのかというところが課題になっています。</p> |
| 青木会長 | <p>ご意見・ご質問等ないようですので、基本目標 1 と 2 は終了します。</p> <p>続いて、基本目標 3・4 に移ります。それでは、事前に委員からいただいております質問事項について、担当課から回答お願いします。</p> <p>「事前質問に対する回答」の質問番号 22、新行内委員の質問に対して、担当の企画課の方は、回答をお願いします。</p> <p>発言される場合は、挙手にてお願いします。</p>                                         |
| 企画課  | <p>ふるさと納税の返礼品についての質問にお答えします。</p> <p>富津市のふるさと納税の返礼品ではメロン、ホンビノス貝、金鮭の切り身など食品が人気となっております。また、君津商業高等学校のメロンのピクルスは、特色のある返礼品でございましたが在庫管理が難しいということで、残念ながら現在は取り扱いを停止しました。</p> <p>近年では、グランピングや宿泊の割引チケットなどの現地に來ていただいて体験型という形で返礼品を増やしております。</p>                   |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>また、旧環南小学校を活用したマメノキドッグパークの利用券や同事業者で展開しているバームクーヘン等を新たに追加しております。</p> <p>1人でも多くの方に本市を選んでいただけるよう、魅力的な返礼品を開発してまいりたいと考えております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 青木会長  | <p>事前質問に対する回答は以上になります。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか。</p> <p>島野委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 島野委員  | <p>少し戻ってしまいますがコメントさせてください。</p> <p>基本目標の1にある子育て支援というレベルでいうと、すごくたくさんの方の施策が並んでいて、学校教育のところはだんだん充実させてきているのがわかって良かったなと思っています。</p> <p>きっと移住者の方が気にされるのは、子供の幼児期より小中学校ぐらいのところの教育をととても大事にされると思うので、もう少しその辺の施策が全体的に手厚くなると、移住促進に繋がるのではないかなと思っています。おそらく学校単位で行っている施策もあると思うので、それらも含めてトータルでアピールする必要があるのではないかなと考えたところです。</p> <p>2つめに、41ページの市民活動支援事業ですが、目標をだいぶ上回って成果が出ていると拝見できますが、総合戦略の中で地域とか市民ができることっていうところをせっかく作られたのですから、ここと絡めて市民活動をもう少し活発にして、市民の力を使うという方が建設的なかなと思いました。</p> |
| 青木会長  | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、岡田委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 岡田委員  | <p>今回デジタル技術の活用を新たにテーマに加えるというお話だったと思いますが、ここ数年でデジタル推進課とかデジタル戦略課みたいな、その専門部署が多く立ち上がっているのを見ますが、富津市ではそういうデジタル部門みたいなものを配置する予定が視野に入っていれば差し支えない範囲で教えてください。</p> <p>2点目は、今世の中では、部活動の地域移行をすごく頑張っている地域をよく拝見しますが、部活動の地域移行について、何かもし進捗があるようでしたらぜひ教えてください。</p>                                                                                                                                                                                                             |
| 小泉副市長 | <p>全国的にDXなど見える化して組織を作っているところを、私も承知しております。</p> <p>課題としてやっていないわけではございません。DX課、DX支援係という名称を使っていないだけで、それが進んでいるかというと、事実として進んでおりません。国の示している基準は、今達成をしようとしていますけれども、これは私自身も来年度以降に向けて努力をして、実のあるものとして検討を進めていきたいと考えております。</p>                                                                                                                                                                                                                                           |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学校教育課</p> | <p>2点目の目の部活動の地域移行についてですが、国県が掲げている令和5年度から7年度を改革推進期として、休日の部活動を地域に移行していく地域クラブ活動として移行していくということについて、富津市においても協議会を立ち上げて検討しているところです。ただ、地域の受け皿の問題であるとか、様々な課題が多く存在していて、簡単にはいかないというところで、現在検討しているところです。</p> <p>地域移行ということを進めていく上での土台作りとして、地域の連携を進めているというところです。</p> <p>具体的には、地域の方で部活動を手伝っていただける方がどれぐらいいるのかであるということ調査しながら、アンケートをとりながら少しずつそういった方々に入っていただきながら、どれぐらい地域移行に向けて進めていけるのか、また難しいのかというのを地域の実情に合わせて進めていくようにということ等も国の方からも話がございまして、富津市の実態に合った部活動のあり方ということを今検討しているところです。</p> |
| <p>青木会長</p>  | <p>ありがとうございました。<br/>続きまして、小嶋委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>小嶋委員</p>  | <p>59ページの鳥獣対策事業ですが、市民の人的被害が1件というところで、前年度と比べれば減ってはいますけど、やはり被害に遭われた方がいるということで、鳥獣が住みやすい環境になっているのかなと受け取っております。やはり、高齢者の方が多いという状況もあって、草刈りなど環境を整えるっていうところがなかなか進んでいない状況もあります。そういう環境を変えていかなければならないと思いますが、市では従事者向けの講座を開催されているようですが、具体的に何か考えられている対策について教えてください。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| <p>鳥獣対策室</p> | <p>鳥獣対策につきましては、講演会等を開催しています。また、獣害被害があった方に対して、巡回相談会を開催しています。その他に、捕獲技術の講習会を、富津、大佐和、天羽各地区で3回開催しています。また昨年度は、集落の検討会を3地区で実施し、地域検討会として2件実施しています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>青木会長</p>  | <p>ありがとうございました。<br/>続きまして、島野委員お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>島野委員</p>  | <p>今日はちょっと辛口のコメントが多かったと思うので、少しお礼を申し上げたいと思います。今回の資料は非常にわかりやすくよかったなと思っております。それに関して感謝いたしております。</p> <p>ICTアドバイザーとして16年から携わらせていただいて、今回の総合戦略の中にDXが入ったというのは、非常に感慨深いなと思っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>先ほど、まだ十分ではないのではないかとというようなご意見もあったとは思いますが、ここまで来たのは、私としては非常に良かったなと思っています。16年、17年に職員研修をやらせていただいた時、この人何を言っているのという感じで冷たい視線を浴びたことも覚えていますが、ここまで来て自主自立して、市として走れるようになっているのかなというふうに感じていまして、これに関しては感謝申し上げます。</p> <p>共助の関係から、市民や地域で何ができるかということを非常に増やしていただいた計画になっていて、市民活動をやっている1人としても非常に心強く思っております。お金がかかるのはちょっと難しいかもしれませんが、市として何かご支援いただけるポイントがあるのであれば、またそういうところもご相談させていただきたいなと思っているところでございますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 青木会長 | <p>他にご意見・ご質問等ないようですので、基本目標3・4は終了します。</p> <p>以上で、議題（2）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画に係る2023年度事業評価について」を終了します。</p> <p>6 その他</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 青木会長 | <p>それでは、本日の議題については全て終了しましたが、その他として事務局から何かありますか。</p> <p>では、事務局からお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事務局  | <p>次回以降の会議についてですが、12月に次期総合戦略（案）、3月に完成版の説明をさせていただきたく、2回の会議開催を予定しています。回りの会議は12月12日（木）を予定しております。</p> <p>改めて、通知を送付させていただきますので、ご協力をお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 青木会長 | <p>委員の皆様方から、何かご意見やご質問がございましたらお願い致します。ご質疑もないようですので終了します。</p> <p>本日の議事の内容につきましては、会議録の確定をもって取りまとめさせていただきますので、ご了承お願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、全ての議題を終了いたします。円滑な議事進行にご協力を頂き誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p> <p>7 閉会</p>                                                                                                                                                                    |
| 事務局  | <p>ありがとうございました。</p> <p>閉会に当たりまして、小泉副市長からご挨拶申し上げます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|              |                                                                           |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 小泉副市長<br>事務局 | <p>(副市長挨拶)</p> <p>以上をもちまして、富津市創生会議を終了いたします。</p> <p>(終了時刻 午後 4 時 10 分)</p> |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------|

以上